霞が関ナレッジスクエア(KK²)事業

～ 共に考え、共に学び、共に担う社会へ～

令和5(2023)年度上期報告書

自　令和5年4月　1日

至　令和5年9月30日

一般財団法人ＡＶＣＣ

目 次

デジタル社会をどう生きるか、どう働くか **3**
Ⅰ　自ら考え行動するデジタル人材を育む **3**
（1）「デジタルTERA小屋～エキスパートと学ぶ～」企画・開催 3
（2）「KK²キャリア相談室」の開設 4
（3）メールマガジン「メッセージfrom KK²」の発行～多彩な執筆者によるメッセージ～ 4
（4）レジリエントを高めるプログラムの開発・提供 5
（5）デジタル公民館®活動 6
（6）「IoT道場～RaspberryPiとPythonでIoTに挑戦！～」開発・提供 9
Ⅱ　**Advanced Valuable**コミュニケーションの社会実装 **17**
（1）「しごと力向上ライブラリ」の開発・提供 17
（2）コンピテンシー・チェック（Webチェックプログラム） 18
Ⅲ　**KK²**ブレンデッドラーニングによる人材育成支援 **20**
（1）組織内でのデジタル寺子屋 20
（2）KK² DPPによるブレンデッドラーニング 21
（3）「KK²協賛メンバーページ」の提供 24
（4）教育機関への働きかけ 24
Ⅳ　誰も置き去りにしないデジタル社会へ **25**
（1）デジタル公民館®プラットフォーム 25
（2）「大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定」（東京都千代田区） 26
（3）KK²オンラインイベント支援事業 26
Ⅵ　ステークホルダーとの関係 **29**
（1）AVCC賛助会、KK²協賛メンバーとの連携強化 29
（2）MOU締結組織 29
（3）KK²Web会員 30
（4）文部科学省発行「マナビィ・メールマガジン」定期掲載 31
（5）霞が関7号館PFI株式会社との事業連携 32
（6）「千代田区霞が関三丁目町会」活動（東京都千代田区） 33
（7）社会への情報発信 33
（8）自主企画プログラムと述べ参加者数 33

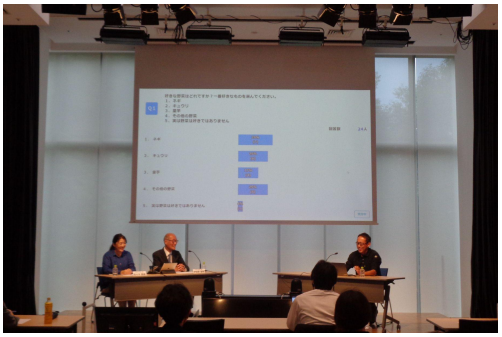
デジタル社会をどう生きるか、どう働くか

KK²令和5年度は「デジタル社会をどう生きるか、どう働くか」を事業テーマとして、以下の上期活動を推進しました。急速に変化し続けるデジタル社会の中で誰も取り残されず活躍できることを目指し、デジタル社会の生き方、そしてデジタル人材の育成について、共に考え学ぶ場を提供しました。

Ⅰ　自ら考え行動するデジタル人材を育む

（1）「デジタル**TERA**小屋～エキスパートと学ぶ～」企画・開催

KK²は、江戸時代に全国へと広がった「寺子屋」をヒントに、デジタル時代におけるTERAサイズの学びの場「デジタルTERA小屋～エキスパートと学ぶ～」をシリーズで開催しています。既存の枠組みにとらわれず新たな価値の創造や課題解決に取り組むエキスパートと共に、「デジタル社会をどう生きるか」について、参加者と共に学ぶDPPを活用した双方向プログラムです。毎回テーマを設定しエキスパートよりお話をいただいた後、モデレーターとのクロストーク、DPPで参加者より寄せられたコメント・質問で議論を深めていきます。



令和5年度上期は会場参加とライブ配信のハイブリッド形式で5回開催し307名にご参加いただきました。

デジタルTERA小屋	開催日	会場参加者	オンライン参加者	属性内訳			合計
				メンバー	Web会員	学生	
災害大国日本で考える、人権と尊厳 第4回 デジタルTERA小屋 石井美恵子さん	2023/4/19(水)	**15名**	**16名**	18名	11名	2名	**31名**
情報的健康について―アテンション・エコノミーにどう向き合うか 第5回 デジタルTERA小屋 山本龍彦さん	2023/5/26(金)	**83名**	**68名**	81名	70名	0名	**151名**
障がい者「が」働く、障がい者「と」働く 第6回 デジタルTERA小屋 俣野公利さん	2023/6/6(火)	**23名**	**28名**	34名	17名	0名	**51名**
野菜を伝える、野菜で伝える ～田畑は人も育つ場所 第7回 デジタルTERA小屋 設楽哲也さん	2023/7/5(水)	**17名**	**18名**	11名	23名	1名	**35名**
深く考えられる人間になろう～発明者の想いを形にする「弁理士」のChatGPT活用法第8回 デジタルTERA小屋 黒瀬泰之さん	2023/9/14(木)	**19名**	**20名**	31名	8名	0名	**39名**
	合　計	**157名**	**150名**	175名	129名	3名	**307名**

デジタルTERA小屋
～エキスパートと学ぶ～

4/19
「災害大国日本で考える、人権と尊厳」
石井美恵子さん

5/26
「情報的健康について
山本龍彦さん

6/6
「障がい者「が」働く、障がい者「と」働く」
俣野公利さん

7/5
「野菜を伝える、野菜で伝える
～田畑は人も育つ場所～」
設楽哲也さん

9/14
「深く考えられる人間になろう
～発明者の想いを形にする「弁理士」の
ChatGPT活用法」
黒瀬泰之さん

・下期開催予定：11月30日（木）自宅で母と夫を看取り、一人になってしみじみ思うこと ～「介護」が愛おしい～第9回デジタルTERA小屋 藤原瑠美さん

（2）「**KK²**キャリア相談室」の開設

KK²では、就職紹介ではなく、キャリア相談に特化したカウンセリングが特徴の「KK²キャリア相談室」を2010年より開設しています。転職や就職はもちろん、仕事や職場で気になること、仕事と家庭とのバランスの取り方や将来についての漠然とした不安など、幅広いテーマについて専門資格を持ったカウンセラーに相談できる場です。

特定非営利活動法人日本キャリア開発協会(JCDA)様のご協力を得て、様々な経歴を持つ経験豊富な5名のカウンセラーに担当していただいています。

コロナ禍を受けてオンライン限定で開催していましたが、令和4年度から対面でのカウンセリングを再開しました。（毎週月曜日～金曜日10時開始～20時終了）

令和5年度上期は7名にご利用いただきました（オンライン5名/対面2名）。7名全員がリーダー層（35歳～59歳）、相談事項は「今後のキャリア」でした。

（3）メールマガジン「メッセージ**from KK²**」の発行～多彩な執筆者によるメッセージ～

KK²Web会員向けにメールマガジンを定期配信しています（毎週金曜日）。令和5年度は、メッセージの寄稿者を拡大し、様々な視点からメッセージを発信しています。なおメッセージはKK²Webサイトにバックナンバーを掲載、公式YouTubeでAI読み上げ動画（YouTubeへのリンク）を掲載し、音声情報としても発信しています。

令和5年度上期は、古賀伸明氏（元連合会長、公益社団法人国際経済労働研究所会長）に月１回定期寄稿をいただく他、AVCC理事長の久保田了司、理事の伊庭野基明、平田英世、秋田義一、田中純一、永岡慶三、そしてKK²のレジリエンスプログラムの講師である鎌田修広氏より寄稿いただきました。令和5年度上期は、26回配信し購読者数は17,329名、平均開封率は27.16%でした。

配信日	発行	タイトル	担当 ※敬称略
2023/9/29	805	＼夜の“霞が関”に飛び出そう／まちの防災発見ツアー★10月20日開催	山田瑞恵
2023/9/22	804	ハチ公 生誕100周年	古賀伸明
2023/9/15	803	受援力を磨こう	秋田義一
2023/9/8	802	弁理士の黒瀬さんに聞く －生成AI(ChatGPT)をどう使うか－	伊庭野基明
2023/9/1	801	関東大震災から100年、あなたはどう行動しますか！	久保田了司
2023/8/25	800	不覚にも新型コロナウイルスに感染	古賀伸明
2023/8/18	799	“Two Way or Go Away”双方向にあらざれば去れ	永岡慶三
2023/8/11	798	生成AI（ChatGPT）利用の現在地－どうする日本？－	伊庭野基明
2023/8/4	797	「猛暑」「気候変動」とどう向き合うか！	久保田了司
2023/7/28	796	暑い夏は“鎮魂の祈り”の季節	古賀伸明
2023/7/21	795	「ダイバーシティ」対話力を磨き、多様な人材が活躍できる社会へ	秋田義一
2023/7/14	794	「自ら考え行動するデジタル人財」へ向けて－KK2デジタルTERA小屋－	伊庭野基明
2023/7/7	793	あなたは「令和の黒船」とどう向き合いますか？	久保田了司
2023/6/30	792	アラカンモンスターを探せ！！！還暦前後の底力	鎌田修広
2023/6/23	791	人間と自然の関係を問い直したパンデミック	古賀伸明
2023/6/16	790	デジタル推進委員に任命されたのですが…	田中純一
2023/6/9	789	AI時代に生きる日本人と日本社会－新たなテーマを考える時－	伊庭野基明
2023/6/2	788	Advanced Valuable Communicationの社会実装	久保田了司
2023/5/26	787	女性をはじめ多様な人材を議会へ	古賀伸明
2023/5/19	786	災害は忘れる前にもやってくる－自分事として備えよう－	秋田義一
2023/5/12	785	AI革命と人間のしごと力－冷静な目で関係性を考える－	伊庭野基明
2023/5/5	784	「こどもの日」子や孫の世代に先送りしない行動を！	久保田了司
2023/4/28	783	私たちはWBCから何を学んだか	古賀伸明
2023/4/21	782	DX時代を先取りする新しいデータ活用・ビジネスモデル事例のご紹介	平田英世
2023/4/14	781	人は変われる －「KK2キャリア相談室」ご活用の勧め－	伊庭野基明
2023/4/7	780	春、卒業50年で参列した入学式で感動しました	久保田了司

（4）レジリエントを高めるプログラムの開発・提供

KK²では「変化にしなやかに対応する力」を「レジリエンス」と呼んでいます。関東大震災から100年が経過し未曽有の災害やパンデミックなど様々な課題を抱える現在、大きな変化に向き合い、共に力を合わせて課題を解決し、前に進むことができる力が求められています。令和5年度上期は多様な視点からレジリエンスを学ぶ機会の提供及び検討をしました。

-1 防災の視点からレジリエンスを学ぶプログラムの開催

レジリエンス人材育成トレーナー　鎌田修広さん（株式会社タフ・ジャパン代表）にご協力いただき、ユニークな視点でレジリエンスを学ぶプログラムを提供しています。令和5年度上期は、身近にある防災に関する「もの(AED・公衆電話など)」や「場所(避難所・病院など)」を発見する体験型のワークショップの企画を検討しました。

・下期開催予定：10月20日（金）まちの防災発見ツアー～夜の”霞が関”に飛び出そう！～

-2 霞が関坐禅会　～自分自身と向き合ってみよう～

臨済宗妙心寺派東京禅センター様にご協力いただき開催している「霞が関坐禅会」は、コロナ禍を受けて対面からオンラインで開催をしていましたが、令和5年3月9日(木)に、3年ぶりに対面での開催を再開しました。

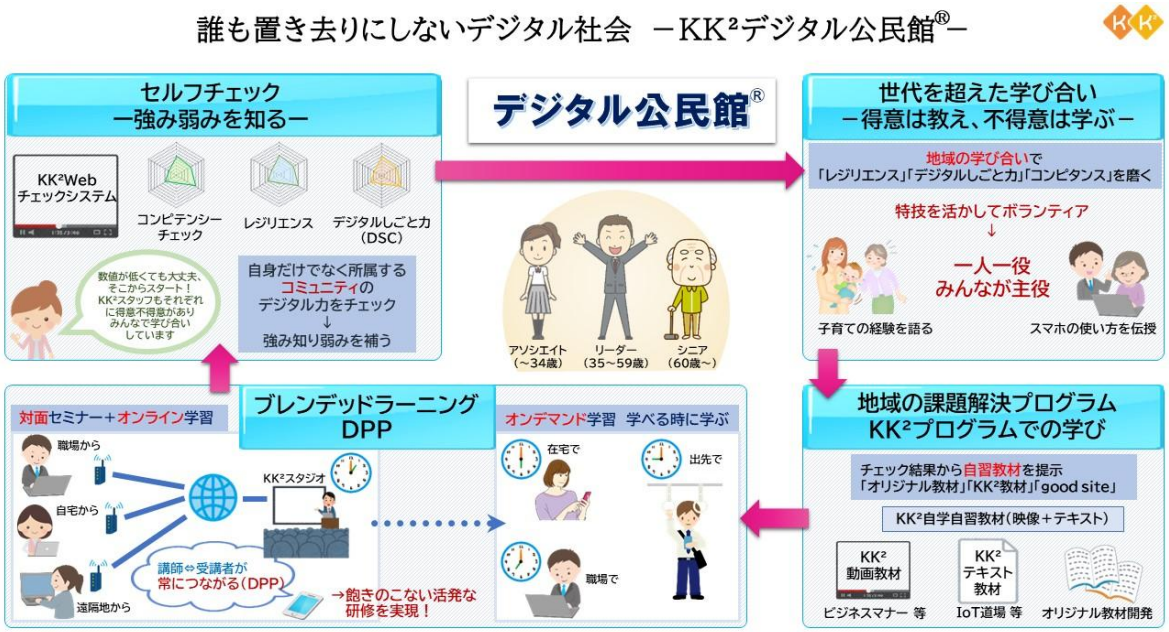
令和5年度上期には、6月22日(木)「煩悩無尽誓願断-煩悩とはなんですか？静かに心を観察する」第十三回霞が関坐禅会～自分自身と向き合ってみよう～を開催し、11名ご参加いただきました。柴田文啓さん（長野県千曲市　開眼寺住職）、並木泰淳さん（台東区　金龍寺住職）を講師としてお招きし、法話、坐禅についてお話を伺い、参加者の皆さまには心身ともにリフレッシュしていただきました。

霞が関坐禅会	開催日	会場参加者	属性内訳	
			メンバー	Web会員
「煩悩無尽誓願断-煩悩とはなんですか？静かに心を観察する」第十三回霞が関坐禅会～自分自身と向き合ってみよう～	2023/6/22(木)	11名	5名	6名
	合　計	11名	5名	6名

・下期開催予定：11月9日(木)第十四回霞が関坐禅会、3月7日(木)第十五回霞が関坐禅会

（5）デジタル公民館®活動

AVCCはデジタル公民館®活動を地域に拡大し、デジタル化の支援を行っています。デジタルデバイドの解消と地域や住民活動の活性化支援を目的としています。



デジタル公民館®サイクル

-1 地域のデジタル公民館®活動支援　～まっさき、やねだん～

デジタル公民館®活動の一環として、地域のデジタルデバイドの解消や地域の魅力を発信するサポートを行っています。対面とデジタルを組み合わせて、住民の方々の活動の活性化を目指しています。

①「デジタル公民館まっさき」活動（岩手県大船渡市末崎地区）

3.11東日本大震災から12年が経ちましたが、コロナ禍を受けて対面での活動は休止しており、「

PCスマホよろず相談教室」は中断したままです。しかし平成25年開催「どこ竹リーダー育成実技講座」と映像教材「竹とんぼ教室の準備と進め方」により現地の高齢者が始められた「どこ竹inまっさき」は脈々と活動を続け、現在も子供からお年寄りまでの幅広い世代が参加する「竹を使ったモノづくり教室」が公民館活動として定着しています。

令和5年度上期は、毎年12月に開催されている「門松作り」の準備編と進め方編を動画で制作し、全国に公開、発信する準備を進めました。また、デジタル公民館まっさきのWebサイト運営の支援も継続しています。

②「デジタル公民館やねだん」活動（鹿児島県鹿屋市串良町柳谷集落）

やねだん自治公民館に設置したデジタル公民館機能を活用し、豊重哲郎館長が塾長を務める「やねだん故郷創世塾」でのオンライン活用を支援します。

令和5年度上期は、「第33回やねだん故郷創世塾」（5月12日～15日開催）において、5月13日(土）にKK²代表久保田了司によるオンライン講義「令和の黒船にどう立ち向かうか？」を行いました。また、Webサイト「やねだん」の運営業務も継続して行います。

下期開催予定：11月11日(土)「第34回やねだん故郷創世塾」におけるオンライン講義

-2 文化に親しみ交流する

① 霞が関寄席

毎回満員御礼の人気プログラム「霞が関寄席」。令和5年度上期には、会場とオンラインのハイブリッド形式で2回開催し、283名参加いただきました。

なお、9月に開催したチャリティ寄席では、収益の一部をデジタル公民館活動にご寄付いただきました。

霞が関寄席	開催日	会場参加者	オンライン参加者	属性内訳			合計
				メンバー	Web会員	一般	
五月　霞が関寄席　馬玉・駒与志二人会	2023/5/19(金)	102名		27名	35名	40名	102名
【ライブ配信】五月　霞が関寄席　馬玉・駒与志二人会			39名	13名	26名		39名
チャリティー霞が関寄席 金原亭駒与志独演会 ～処暑の大見得～	2023/9/1(金)	101名		25名	46名	30名	101名
【ライブ配信】チャリティー霞が関寄席 金原亭駒与志独演会 ～処暑の大見得～			41名	15名	26名		41名
	合　計	203名	80名	80名	133名	70名	283名

・下期開催予定：12月8日（金）

② 江戸TOKYO散歩～広重「名所江戸百景」と東京の今～

（英語/韓国語/中文簡体/中文繁体版対応）

KK²開設記念に制作したオリジナル作品「江戸 TOKYO 散歩」は、歌川広重の最高傑作といわれる「名所江戸百景」から春夏秋冬の12景をモチーフに紹介、江戸と現在の東京の街並み、人々の営みを 映像に収めています。多言語（英語/韓国語/繁体字/簡体字）版を KK²Webサイト 、KK²公式YouTubeチャンネルで公開しています。令和5年度上期の動画視聴回数は、合計322回でした。

動画視聴回数	日本語	英語	韓国語	中文簡体	中文繁体	合計
プロローグ	32	0	8	5	1	46
Vol.1「虎の門外あふひ坂」（虎ノ門）	46	1	1	6	6	60
Vol.2「浅草金龍山」（浅草）	17	2	4	4	4	31
Vol.3「湯しま天神坂上眺望」（湯島）	3	0	16	2	10	31
Vol.4「する賀てふ」（日本橋三越前）	9	0	14	12	12	47
Vol.5「山下町日比谷外さくら田」（日比谷）	1	0	0	0	0	1
Vol.6「飛鳥山北の眺望」（王子・飛鳥山）	2	0	1	1	1	5
Vol.7「大はしあたけの夕立」（新大橋）	36	1	0	2	1	40
Vol.8「堀切の花菖蒲」（堀切）	1	4	2	0	1	8
Vol.9「はねたのわたし　辨天の社」（羽田）	5	0	0	0	0	5
Vol.10「両国花火」（両国）	6	0	3	1	0	10
Vol.11「京橋竹がし」（銀座）	8	0	2	3	3	16
Vol.12「四ツ谷内藤新宿」（新宿）	18	0	0	4	0	22
合 計	184	8	51	40	39	322

（6）「**IoT**道場～**RaspberryPi**と**Python**で**IoT**に挑戦！～」開発・提供

IoT（Internet of Things　モノのインターネット）とは、ヒトとモノをインターネットに繋ぐことにより、遠隔での状況確認やリモートコントロールが可能になることです。例えば、出先からスマートフォンでTV番組を録画することができたり、身近な課題をIoTを活用して解決することができます。AVCCでは、RaspberryPiでPythonを学ぶ「IoT道場」の教材を令和4年度に開発しました。多くの方に入門いただき、自らの課題を考え解決することができるデジタル人材の育成を推進します。プログラムは、KK²Webサイトで提供し、令和5年上期には以下2つの講座を公開しました。

①Python基礎講座（無償プログラム）

学習者のPC（Windows or Mac）上でThonnyというツールを使いPythonを習得します。パソコンとインターネット環境があれば学習ができますので、特別な機材の準備は不要です。Pythonは、様々な分野や目的に応じて、過去にプログラムされたひな形のライブラリーが充実しており、その範囲は科学技術計算やAIまで幅広い分野に及びます。膨大なライブラリーを誰もが自由に無料で利用でき、積み木を組み合わせるようにして自分のプログラムを作ることが可能です。Python基礎講座ではまず、Pythonの基礎を習得します。このプログラムは学習者の自学自習を前提としておりますが、悩んだ時、困った時にチャットで問い合わせに応えるTAV（Teaching Asistant Volunteer）による学習サポートを行います。

令和5年度上期は、ChatGPTを活用した「AIサポート」機能を追加搭載しサポートをより強化しました。9月末時点で39名の方が受講され4名の方が修了されました。

「Python基礎講座」Lesson一覧

Lesson 0	レッスンを始める前に	0-1	プログラミングとは?
		0-2	Python とは?
		0-3	Python のライブラリ
		0-4	Raspberry Pi 400
		0-5	Python の開発環境 - Thonny -
		0-6	テキストの使い方
		0-7	プログラムの入力について
		0-8	~ 参考文献 ~
Lesson 1	Pythonを 使ってみよう！	1-1	準備
		1-2	拡張子
		1-3	Pythonをはじめよう！
		1-4	Thonnyのウィンドウについて
		1-5	Shellウィンドウを使ってみよう！
		1-6	Pythonの変数
		1-7	Editorウィンドウを使ってみよう！
		1-8	演習！- 変数・print

Lesson 2	データ型・文字列	2-1	Pythonの基本を学ぼう！- input
		2-2	Pythonの基本を学ぼう！- データ型
		2-3	演習！- 文字列と変数
		2-4	Pythonの基本を学ぼう！- 文字列メソッド
Lesson 3	bool型 (True・False)	3-1	Pythonの基本を学ぼう！- bool型
		3-2	Pythonの基本を学ぼう！- 比較演算子
		3-3	Pythonの基本を学ぼう！- 論理演算子
		3-4	Pythonの基本を学ぼう！- ショートサーキット
Lesson 4	条件分岐 (if・elif・else)	4-1	Pythonの基本を学ぼう！- 条件分岐
		4-2	演習！- if elif else
Lesson 5	繰り返し	5-1	Pythonの基本を学ぼう！- 繰り返し ① for in range()
		5-2	Pythonの基本を学ぼう！- 繰り返し ② while
		5-3	Pythonの基本を学ぼう！- 繰り返し ③ while True
		5-4	Pythonの基本を学ぼう！- continue・break
		5-5	演習！- while True (continue,breakの使い方)
Lesson 6	配列 ① (リスト)	6-1	Pythonの配列を学ぼう！- リスト
		6-2	Pythonの配列を学ぼう！- リストの操作
Lesson 7	配列 ② (タプル・集合)	7-1	Pythonの配列を学ぼう！- タプル
		7-2	Pythonの配列を学ぼう！- 集合
Lesson 8	配列 ③ (辞書・配列の繰り返し)	8-1	Pythonの配列を学ぼう！- 辞書
		8-2	Pythonの配列を学ぼう！- 辞書の操作
		8-3	Pythonの配列を学ぼう！- 配列の繰り返し
Lesson 9	関数	9-1	プログラミングの関数とは？
		9-2	関数の定義 - 自分で関数を作成しよう！
		9-3	グローバル変数とローカル変数
Lesson 10	モジュール・パッケージ・ライブラリ	10-1	モジュール・パッケージ・ライブラリ
		10-2	モジュール - import
		10-3	演習！- モジュールを使ってみよう！
		10-4	自分でモジュールを作成しよう
		10-5	演習！- モジュールの作成
		10-6	パッケージを作成しよう

Lesson 11	オブジェクト指向プログラミング ①	11-1 オブジェクト指向プログラミングの概要 11-2 オブジェクトとクラス 11-3 クラスの定義 - クラス変数 11-4 演習！- クラスの定義
Lesson 12	オブジェクト指向プログラミング ②	12-1 クラスの定義 - インスタンス変数とコンストラクタ 12-2 クラスの定義 - クラスの継承 12-3 演習！- クラスの継承
Lesson 13	オブジェクト指向プログラミング ③ 演習	13-1 演習！- オブジェクト指向プログラミング

②Python IoT 応用講座（有償プログラム）

Pythonのプログラミング基礎を理解できたら、「拡張基板」と「RaspberryPi400」を使い、実習しながらIoTを学びます。「RaspberryPi」がIoTに向いているのは、外部装置との信号のやりとり、電流を送ったりする40ピンI/O端子が付いていることです。この40ピンI/O端子に接続して幾つかのIoT実習を行うことができる「拡張基板」を独自に開発しました。「拡張基板」と「RaspberryPi400」を接続するだけでIoT実習とプログラム学習ができます。受講費は「拡張基板」と「RaspberryPi400」の購入を含めた有償となります。このプログラムは学習者の自学自習を前提としておりますが、悩んだ時、困った時にチャットで問い合わせに応えるTAV（Teaching Asistant Volunteer）による学習サポートを行います。

令和5年度上期は、Python基礎講座同様にChatGPTを活用した「AIサポート」機能を搭載し、9月末時点で2名の方が受講され1名の方が修了されました。

「**Python IoT** 応用講座」**Lesson**一覧

Lesson 14	拡張基板とは	0-1	拡張基板について
		0-2	拡張基板の接続方法
		0-3	拡張基板の機能
		0-4	40ピン I/O 端子
		0-5	電源とアースの接続
		0-6	部品を実装した拡張基板とショートピンの役割
		0-7	センサーの取り外し
		0-8	電子回路図とGND
		0-9	電気の単位
		0-10	電子回路を配線する際の注意事項
Lesson 15	GPIOを使ったLED点灯	1-1	今回の学習目標！
		1-2	今回使う 40ピン I/O 端子
		1-3	使用するブロック : LED_R
		1-4	デバイス説明
		1-5	RPi.GPIOモジュール
		1-6	プログラム構造の確認 - LEDを点滅させる
		1-7	プログラム入力と実行
		1-8	プログラムの説明
		1-9	演習！ - LEDをずっと点滅させよう！
		1-10	例外処理 - 警告メッセージの対策をしよう！
Lesson 16	単色LEDの点灯 (応用)	2-1	今回の学習目標！
		2-2	今回使う 40ピン I/O 端子
		2-3	使用するブロック : LED_R/B/G
		2-4	演習！ - ① 3色のLEDを順番に点滅させよう！
		2-5	演習！ - ② いろいろな点灯方法を試してみよう！
Lesson 17	単色LEDとスイッチ制御	3-1	今回の学習目標！
		3-2	今回使う 40ピン I/O 端子
		3-3	使用するブロック : LED_R/SW_1
		3-4	デバイス説明
		3-5	プログラム構造の確認 - スイッチでLEDを点灯する
		3-6	プログラム入力と実行
		3-7	プログラムの説明
		3-8	プルダウンとプルアップ
		3-9	プログラムでプルダウン抵抗を設定する

Lesson 18	フルカラーLEDの点灯	4-1	今回の学習目標！
		4-2	今回使う 40ピン I/O 端子
		4-3	使用するブロック フルカラーLED
		4-4	デバイス説明
		4-5	プログラム構造の確認 - フルカラーLEDを点灯する
		4-6	プログラム入力と実行
		4-7	実行結果
		4-8	プログラムの説明
		4-9	応用:7色の色を表現する
		4-10	実行結果
		4-11	プログラムの説明
Lesson 19	フルカラーLEDで明るさ調整 (PWM)	5-1	今回の学習目標！
		5-2	今回使う 40ピン I/O 端子
		5-3	使用するブロック フルカラーLED
		5-4	LEDの明るさを調整するには？ - PWM制御
		5-5	プログラム構造の確認 - PWMで明るさを制御する
		5-6	プログラム入力と実行
		5-7	実行結果
		5-8	プログラムの説明
		5-9	応用:スイッチでLEDを調光する
		5-10	プログラム入力と実行
		5-11	実行結果
Lesson 20	人感センサー	6-1	今回の学習目標！
		6-2	今回使う 40ピン I/O 端子
		6-3	使用するブロック 人感センサー
		6-4	デバイス説明
		6-5	プログラム構造の確認 - 人感センサーで感知する
		6-6	プログラム入力と実行
		6-7	実行結果
		6-8	プログラムの説明
		6-9	応用:人感センサーが検知した時にLEDを点灯する
		6-10	プログラム入力と実行
		6-11	実行結果
Lesson 21	温湿度センサー	7-1	今回の学習目標！
		7-2	今回使う 40ピン I/O 端子

		7-3	デバイス説明
		7-4	ライブラリのインストール
		7-5	プログラムの構造の確認 - 温湿度センサーで計測する
		7-6	プログラム入力と実行
		7-7	プログラムの説明
Lesson 22	超音波センサー	8-1	今回の学習目標！
		8-2	今回使う 40ピン I/O 端子
		8-3	使用するブロック 超音波センサー
		8-4	デバイス説明
		8-5	プログラム構造の確認 - 超音波センサーで距離の測定
		8-6	プログラム入力と実行
		8-7	実行結果
		8-8	プログラムの説明
		8-9	応用:LEDで距離を判別しましょう
		8-10	プログラム入力と実行
		8-11	実行結果
Lesson 23	ブザー	9-1	今回の学習目標
		9-2	ブザーで使う 40ピン I/O 端子
		9-3	デバイス説明
		9-4	プログラム構造の確認 - ブザー音を鳴らす
		9-5	プログラム入力と実行
		9-6	プログラムの説明
Lesson 24	スピーカーとアンプ	10-1	今回の学習目標
		10-2	スピーカーとアンプで使う 40ピン I/O 端子
		10-3	デバイス説明
		10-4	プログラム入力と実行 - PWMで音の大きさを変化させる
		10-5	演習！ - メロディとリズムを作って曲を演奏する
Lesson 25	赤外線センサー	11-1	今回の学習目標
		11-2	赤外線センサーで使う 40ピン I/O 端子
		11-3	デバイス説明
		11-4	プログラム入力と実行 - 赤外線センサー検知
		11-5	演習：赤外線センサー検知したらフルカラーLEDを点灯
		11-6	プログラム入力と実行

具体的には以下の実習を行います。

- 青、緑、赤のLEDを点けたり、消したり、交互に点滅させたり、フルカラーのLEDを指定した色に点灯するプログラムの作成
- 人が近づいたらLEDが光り知らせる人感センサーシステムの作成
- 音波センサーによる距離計プログラムの作成
- 温度湿度計や赤外線を使ったプログラムの作成
- スピーカー・アンプが付いているので音楽を演奏するプログラムの作成

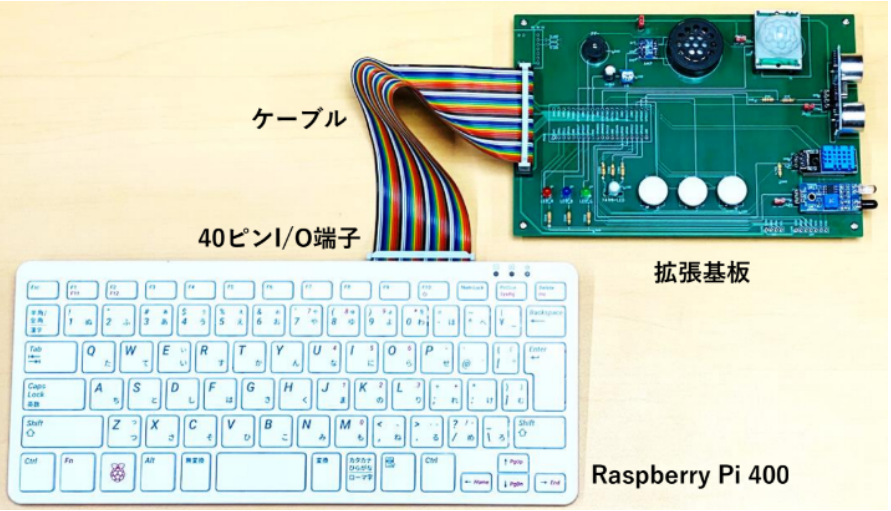


図-7　拡張基板とRaspberryPi400

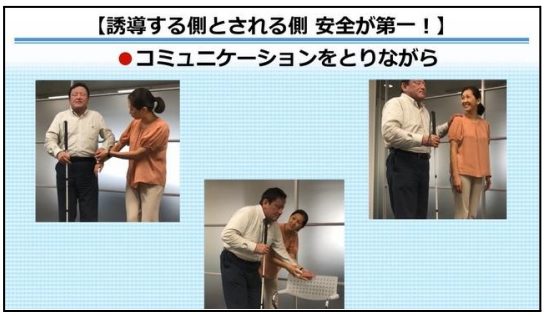
教材の開発には、宇治市を拠点に「誰も取り残さないプログラミング塾『楽々電子塾』」を運営する株式会社テラユナイテッド様（MOU締結団体）にご協力をいただいています。なお、本講座は、オンラインで個別サポートを行うlearning Support System（LSS）で提供します。

Ⅱ　Advanced Valuableコミュニケーションの社会実装

（1）「しごと力向上ライブラリ」の開発・提供

KK²では「社会で活躍するために必要な力」を「しごと力」とよんでいます。知識、スキルだけでなく、Feel（人間関係力）、Think（問題解決力）、Act（行動力）の行動特性（コンピテンシー）と変化にしなやかに対応する力（レジリエンス）を含む総合的な力です。デジタル社会において必要な「しごと力」を学べるプログラムとして開発し提供してまいります。

令和5年度上期は、ANAウィングフェローズ・ヴイ王子株式会社 Universal Standard Consulting事業部様の制作協力をいただき、障がいとは何かを理解し、障がい者の方とのコミュニケーションの取り方を学ぶプログラム「障がい当事者が語る！コミュニケーションのバリアフリー」を公開しています。バリアフリーとユニバーサルの違いや、障がい者を取り巻く状況に始まり、さまざまな障がいの基礎知識や困りごと、コミュニケーションのポイント等を、障がい当事者が講師となって解説するこれまでにないプログラムです。令和5年度上期は、全17単元のうち12単元を公開しました。



講座名	オンデマンドレビュー（5段階評価）	
障がい当事者が語る！コミュニケーションのバリアフリー	5.0	
単元名	公開日	再生回数
1.基本①バリアはどこに	2023/6/1(木)	130
2.基本②法令や社会的背景から学ぶ	2023/6/1(木)	68
3.障がいを知る：肢体不自由・車椅子利用者①（基礎）	2023/6/29(木)	76
4.障がいを知る：肢体不自由・車椅子使用者②（車椅子の移動介助）	2023/7/6(木)	49
5.障がいを知る：肢体不自由・車椅子使用者③コミュニケーション	2023/7/13(木)	41
6.障がいを知る：視覚障がい①基礎	2023/7/27(木)	45
7.障がいを知る：視覚障がい②コミュニケーション	2023/8/3(木)	35
8.障がいを知る：視覚障がい③Webアクセシビリティ	2023/8/10(木)	44
9.障がいを知る：聴覚障がい・言語障がい①基礎	2023/8/24(木)	40
10.障がいを知る：聴覚障がい・言語障がい②コミュニケーション：手話	2023/8/31(木)	21
11.障がいを知る：聴覚障がい・言語障がい③コミュニケーション：ツール	2023/9/7(木)	14
12.障がいを知る：内部障がい	2023/9/21(木)	19

下期公開予定：

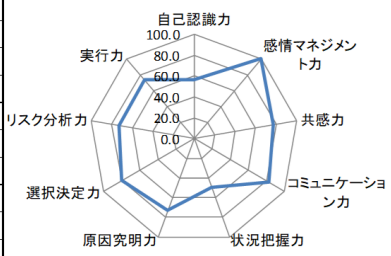
13.障がいを知る：精神障がい　14.発達障がい　15.知的障がい

16.加齢に伴う障がい・その他配慮が必要な方　17.ケーススタディ緊急時・災害時の対応

（2）コンピテンシー・チェック（Webチェックプログラム）

社会に貢献している人、社会で活躍する人、優れた仕事をする人が備える「しごと力」の中核となるコンピテンシー「Feel（人間関係力）、Think（問題解決力）、Act（行動力）」について理解し、自分自身の学習課題を知るWebチェックプログラムです。Web会員登録を行えばどなたでも無料で利用できます。KK²「コンピテンシー」9項目に関するケーススタディ（ドラマ）を視聴し、自分ならどう考え　行動するのかをWeb上に入力します。入力内容　と模範回答をセルフチェックし、自分に足りない　コンピテンシーについて気付きを促す学習プログラムです。令和5年度上期は、33名の方に利用いただきました。

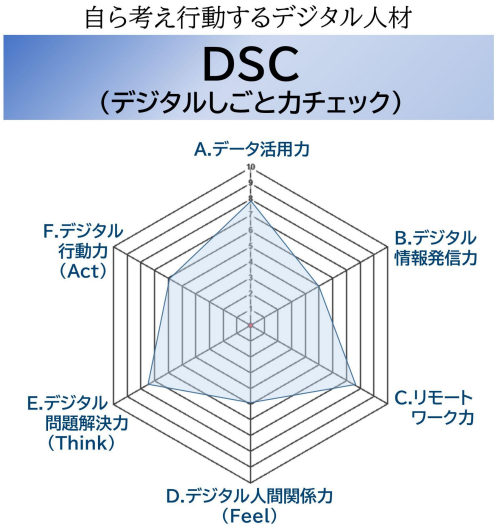
講座名		ケーススタディ	理解度平均スコア	受講者数
人間関係力（Feel）	自己認識力	「就職活動」	56.3	8名
	感情マネジメント力	「年下の上司」	100.0	3名
	共感力	「父親の転勤」	77.0	3名
	コミュニケーション力	「バイトのシフト交替」	83.3	3名
問題解決力（think）	状況把握力	「町のゴミ問題」	50.0	4名
	原因究明力	「パソコン故障の原因」	73.3	3名
	選択決定力	「妹の進路決定」	80.0	3名
	リスク分析力	「犬小屋づくり」	73.3	3名
行動力（Act）	実行力	「アイスホッケーのスターになるために」	73.3	3名
			合計	33名



Ⅲ　KK²ブレンデッドラーニングによる人材育成支援

（1）組織内でのデジタル寺子屋

私たちはAVCCの職員としてデジタル社会で求められるしごと力を、以下の図「DSC(デジタルしごと力チェック)」のようにA~Fの6項目にまとめ、各項目を細分化したコンピテンシー・インベントリーを作成し、各コンピテンシー毎に質問・チェックするDSC(デジタルしごと力チェック)を令和4年11月に公開しました。一年間ほどAVCCの職員有志が議論し作成したものです。



DSC(デジタルしごと力チェック)

DSCは単に各人がセルフチェックをするだけでなく、そのスコアに応じて推奨する学習教材を提示する仕組みとなっており、チェック後に各人が自学自習できるものとなっています。推奨教材を各組織が用意することはとても大変なため、KK²の既存教材から選定することと、Webサイトの中で教材として相応しいサイトを[good site]として選定しています。オリジナル教材の開発公開も出来ることは進めますが、科学技術の進展とそれに関するWebサイト等変化はますます加速しています。ChatGPTのような対話型AIシステムによるサポートも視野に入れ日々アップデートしてまいります。

人材育成をすすめる組織ではこの「AVCC版DSC」をたたき台にして、組織独自のコンピテンシー・インベントリーを整備し、その組織と働く人の強み弱みを把握し、組織内での学び合いを促進することでしごと力を向上し働き方を変えることができます。組織内での研修の指南役は相応しい方を組織内で選定し、KK²ブレンデッドラーニングを活用して対面学習・オンライン学習・オンデマンド学習によりできるだけ多くの方々に学習機会を用意し、ある分野の指南役は組織内での対面・オンライン・オン

デマンドの照会対応を行い、コンピテンシー向上、エンゲージメント向上、コミュニケーション向上に寄与してまいります。

令和5年上期までに、3つのコミュニティーで99名の方が利用され、おすすめサイトの視聴も800回を超えました。

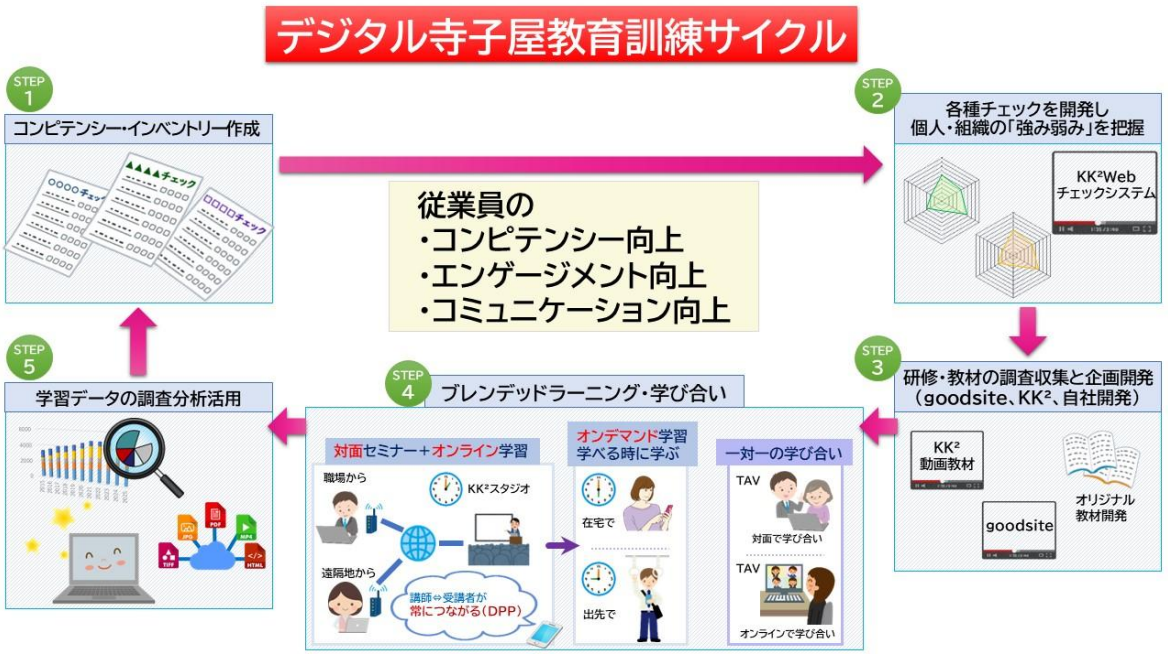


図-14 デジタル寺子屋教育訓練サイクル

（2）**KK² DPP**によるブレンデッドラーニング

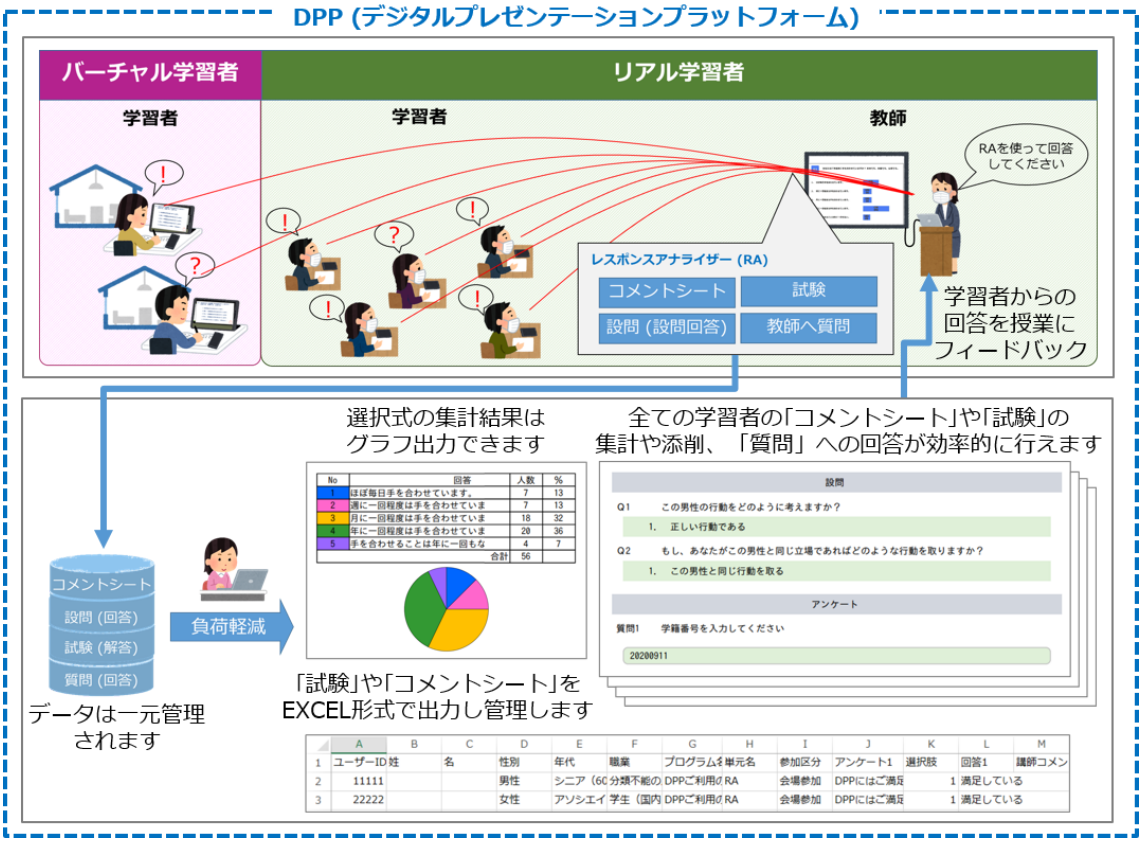
KK²サイトには、組織内でのブレンデッドラーニングを実践することができる人材育成サポートプログラムを実装しています。

KK²デジタルプレゼンテーションプラットフォーム（以下、DPP）は、「リアル研修／集合学習」「ライブ学習」「オンデマンド学習」の三つの学習形態で、アナライザ（Response　Analyzer）を活かした「Tow Way Communicationの実践」と「Digital Transformationの支援」を提供しています。

-1 DPPによるDigital Transformationの支援

「試験」「コメントシート」「質疑」等、講師と学習者（リアル＋バーチャル）間で情報をすべて紙ベースからオンライン化し、データとして管理します。集計・添削・質問への回答を効率的に行うことができ、文字が見やすく、講師の「負荷軽減」「働き方改革」を支援します。令和5年度上期は、DPP画面からZoom等のオンラインミーティングツールを直接起動できる機能を追加し、ブレンデッドラーニングをより効率的に実現できるようになりました。

以下にDPPの概念図を示します。



KK²デジタルプレゼンテーションプラットフォーム（DPP）概念図

※KK²デジタルプレゼンテーションプラットフォーム（DPP）は、協力会社である株式会社メディアリンクにより、特許番号：第6507328号、第6582262号、第7231146号 を取得しています。

①多岐選択式セルフチェックシステムの提供

様々なリテラシーを測るため多数の多岐選択質問に回答することで、学習者自身の理解度とグループ内の「順位」等を知ることができます。また、同時に提示される「アドバイス」と「おすすめコンテンツ」は、学習者を動機付けし「自学自習」をサポートします。

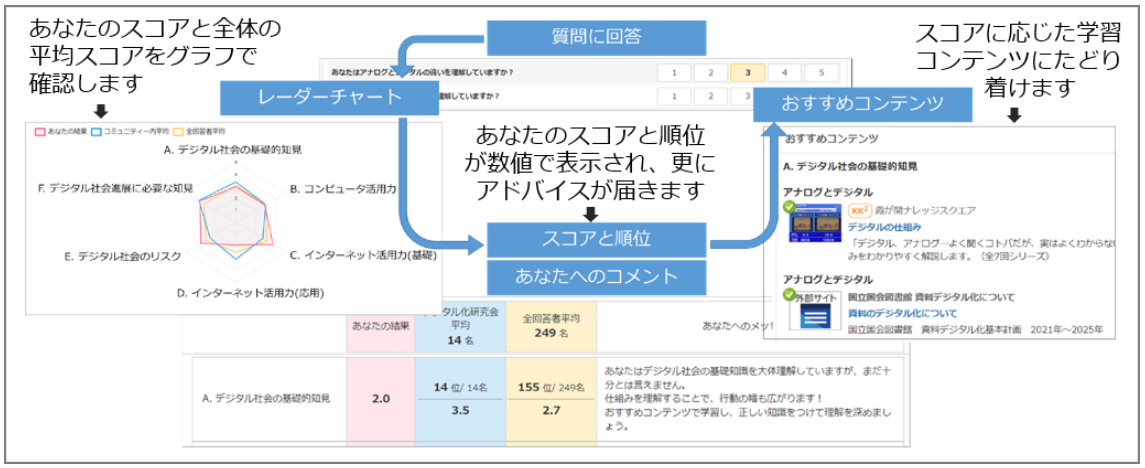


図-16　多岐選択式セルフチェックシステム概念図

現在、「デジタル活用力チェック（DKC）」「デジタルしごと力チェック（DSC）」として実装していますが、様々なチェックシステムとして、今後例えば「インフォメーション・ヘルス・チェック（情報的健康力）」など多種多様な分野への拡大を図る予定です。

令和5年上期までに、「デジタル活用力チェック（DKC」）は4つのコミュニティーで計330名、「デジタルしごと力チェック（DSC）」は3つのコミュニティーで99名の方が利用されています。

②テキストベース個別学習システムの提供

学習者はテキストベースの教材により自学自習と実習を進めます。QRコードを読み取ると参考データを見ることや疑問点等を質問することができ、TAV(Teaching Assistant Volunteer）がアドバイザーとして問い合わせに回答します。また、問い合わせの内容と回答は「FAQ」として蓄積されます。

テキストベース個別学習システム概念図

テキストベース個別学習システムは、汎用性のある「Learning support system（LSS）」として開

発を進め、令和5年に公開した「Python基礎講座」と「Python IoT 応用講座」の受講者支援機能として組み込まれています。

（3）「**KK²**協賛メンバーページ」の提供

KK²事業は、協賛メンバー様の会費収入が事業収入の最も大きな柱となっており、メンバー様のニーズにお応えすること、また新規に入会いただける団体・組織様へのアプローチがとても重要です。令和5年度上期は34団体・組織に入会いただいています。

KK²協賛メンバー様は、AVCCとの共催プログラムの企画・開発や、オンラインセミナー開催に最適な設備をメンバー価格での利用、オンラインコンシェルジェによるサポート、組織専用の学びのページ「協賛メンバーページ」や、KK²プログラムへの従業員の参加費割引、KK²LMSの利用など人材育成に活用いただけるサービスをご利用いただけます。KK²が提供する施設・サービスをご活用いただき、デジタル社会の人材育成や研修などにお役立ていただけるように推進してまいります。

（4）教育機関への働きかけ

KK²デジタルプレゼンテーションプラットフォーム（DPP）は、教育機関に対してもコロナ禍を境にして、複数の大学でオンライン授業、オンラインテストなどでご利用頂いており、講師の負担軽減や働き方改革に成果が出てきています。

そのようなDPPの利用事例を活かして、令和4年度から中学校の授業でのDPP利用を進めてまいりました。令和5年度も引き続き、KK²/LMSとDPPを組み合わせた形での利用を支援しており、令和5年度上期も3大学1中学校の218授業で、延べ19,029の学生／生徒が DPPを利用した授業に参加しています。

Ⅳ　誰も置き去りにしないデジタル社会へ

（1）デジタル公民館®プラットフォーム

KK²Webサイトは「デジタル公民館®」活動のプラットフォームとして、様々な機能が備えられています。1,900本を超える動画（レビュー、テスト、設問回答機能）、プログラムへの申込み機能、学習履歴が表示されるマイページ機能に加え、Ⅲの（2）で記載したDPP機能やチェックシステム、施設の貸出管理など、いつでもどこでも学べるデジタル公民館®として、継続して新規機能の開発、コンテンツの拡充をしてきました。ただし、リニューアルして時間もたっていることから、KK²Webサイトの見直しを進め、学びのプラットフォームとしてのわかりやすさ、サービス向上を目指します。令和5年度上期は、主に以下について検討をすすめています。

-1 カテゴリの再整理

現在、「いつでもどこでも学べるデジタル公民館」（AI社会を生きる力を考える・個人のレジリエンスを学ぶ・組織・地域を担うしごと力を学ぶ・文化に親しみ交流する・教育のデジタル化【DPP】）と「KK²をご利用下さい」（レンタルスペース・エキスパート倶楽部・KK²メンバー制度）の大きく2つの柱のカテゴリとなっています。それぞれのカテゴリの見直し、トップページで発信する情報の整理について検討を行っています。

-2 公開動画の見直し

現在公開している約1,900本の動画については見直しを行い、内容・制作時期などを勘案し適切なものの取捨選択、また学習者がアクセスしやすいように講師別・テーマ別等での整理について検討を行っています。

-3 KK²Web会員機能の見直し

KK²Web会員ができる機能（メールマガジンの登録、動画の視聴・テスト・レビュー、マイページ機能・プログラムの申込み機能、レンタルスペースの仮予約機能など）の見直し、整理について検討を行っています。

-4 学習サイクルの見直し

最初にDPPのチェックシステム（DKC、DSC等）を行い自分の状況を知り、その後自分に必要な学びの教材が表示されることで効率的に学べる学習サイクルの実現に向けて検討を進めています。

（2）「大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定」（東京都千代田区）

AVCCは千代田区と「大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定」（平成27年2月）を締結し、発災時には帰宅困難者等を一時的にKK²「エキスパート倶楽部」と「スタジオ」に受け入れます。令和5年度上期も、千代田区の防災無線訓練の実施（月1回）に加え、備蓄品の点検等を行いました。

（3）**KK²**オンラインイベント支援事業

KK²事業収入の柱であるレンタルスペース事業は、Web会議やライブ配信などのオンラインと会場での対面を組合せたハイブリッドでの開催ニーズが急速に増加しています。また、オンラインイベントの申込みから、本番開催時のオンライン運用支援、収録・編集、オンデマンド公開、DVD制作など、総合的にオンラインイベントを支援する機会も増え、KK²オンラインイベントコンシェルジュが最適なオンラインイベント開催をご提案させていただき、ご担当者の業務の負荷軽減のサポートにもお役立ていただいています。

令和5年上期は、スタジオ75回、ラウンジ109回、エキスパート倶楽部6回の貸出を行い、5,031名のご利用がありました。7月にはホームページ内に「チャットボット」を新設し24時間・365日、お問い合わせに対応できるようにいたしました。お問い合わせフォームのように個人情報・連絡先を打ち込む必要もないので、質問のハードルが下がり、疑問が解消される確率が上昇し、今まで把握できていなかった隠れたニーズや、商品・サービス紹介のわかりづらいポイントなどを言語化された状態で理解でき、改善策を立案しやすくなりました。

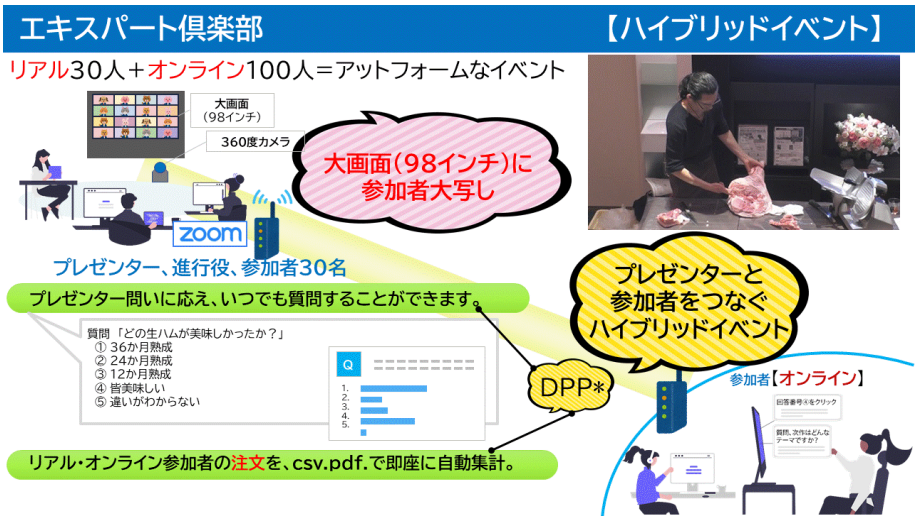
	スタジオ		ラウンジ		エキスパート倶楽部				KK2施設利用者数合計
	レンタルスペース利用者	貸出回数	レンタルスペース利用者	貸出回数	利用者数計	ランチ利用者	レンタルスペース利用者	貸出回数	
令和5年度(上期)	1,340名	75回	816名	109回	2,875名	2,753名	122名	6回	5,031名

スタジオを利用したハイブリッド委員会のイメージ

令和4年度より、ラウンジもWeb会議専用マイク・スピーカー・カメラを常設し、ハイブリッドのWeb会議に最適な環境をそろえてレンタルスペースとして提供を開始しています。

ラウンジを利用したハイブリッド会議のイメージ

更に、交流カフェ　エキスパート倶楽部も、Wi-Fi、大型モニタ、天吊りのハイビジョンカメラやWebカメラを活用したハイブリッド会議にもご利用をいただいています。



エキスパート倶楽部を利用したハイブリッド会議のイメージ

令和5年度も、急速に変化する社会の動向や技術をキャッチアップし、ニーズに合わせたサービスを提供できるよう、スタッフのスキルアップを目指し活動を進めています。

なお、コロナ禍を受けて制作した「新しい生活様式」は、令和5年5月に5類への移行を受けて内容を見直しを行い、令和5年7月以降は「感染対策」として引き続き基本的な感染対策を続けております。

Ⅵ　ステークホルダーとの関係

（1）AVCC賛助会、KK²協賛メンバーとの連携強化

AVCC賛助会、KK²協賛メンバーなどご支援いただいている皆さまへ各年の事業テーマに則した講演会を開催しています。令和5年度上期は、5月26日(金)に2部構成で、AVCCの令和5年度事業説明と、山本龍彦氏（慶應義塾大学大学院法務研究科　教授/近著「デジタル空間とどう向き合うか」）をゲストにお迎えし「第5回デジタルTERA小屋～エキスパートと学ぶ～」を開催しました。（P3　Ⅰ(1)参照）

第1部は令和5年度AVCC事業「自治体DX推進支援事業」「.IoT道場～RaspberryPiとPythonでIoTに挑戦！」について各担当の部長よりご説明をさせていただき、第3部は「AVC（AdvancedValuable Communication）タイム」として、AVCC新規事業「テレボーサイ・サービス～誰も置き去りにしないデジタル社会の実現に向けて～機能説明・実演～」「IoT道場　～RaspberryPiとPythonでIoTに挑戦！～」のデモンストレーションを行いました。会場に83名、ライブ配信で68名の方にご参加いただきました。

（2）MOU締結組織

AVCCと相互協力協定（MOU）を締結している団体とは、KK²プログラムの企画・開発や、AVCCコンサルティング事業の支援、デジタル公民館®活動への協力など、多方面でご協力をいただいています。令和5年度も、相互の事業に有益な活動ができるよう進めています。

「MOU締結組織一覧」

一般社団法人 話力総合研究所

株式会社タフ・ジャパン

株式会社テラユナイテッド

社会福祉法人 むそう

やねだん自治公民館（鹿児島県鹿屋市串良町柳谷(やねだん)）

社会福祉法人 スマイリング・パーク

一般社団法人 長洞元気村

NPO法人「居場所」創造プロジェクト（居場所ハウス）

-1 多様な方たちの働く場　交流カフェ「エキスパート倶楽部」～シェア型書店＆ギャラリー「**CuBookGallery**」を新設～（むそう様）

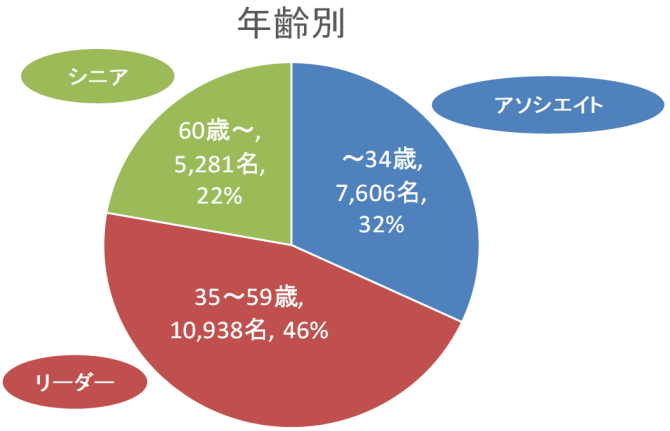
エキスパート倶楽部の一般営業（ランチ・カフェ業務）は、障害のある方達の働く拠点の一つとして社会福祉法人むそう様に運営協力をしていただいています。

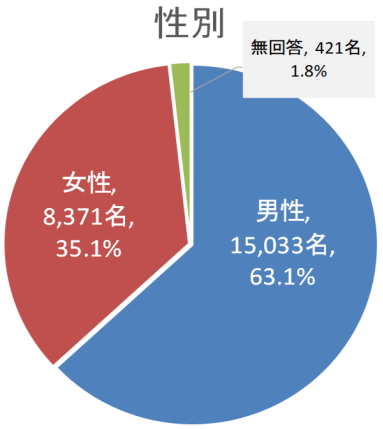
令和5年度上期は、シェア型書店＆ギャラリー「CubookGallery」を併設し、多様な情報の発信の場として活用を促進するための準備を進めました。4月に書棚の設置が完了し、Webサイトでの申込の受付準備、棚主の募集（月額有料制）やレジなど運用についてむそう様と協議をすすめています。むそう様の情報発信やオリジナルの物販の棚も設置し「いつでも、すきな場所で暮らし、たいせつな人と、したいことができる街を作りたい。」というコンセプトの発信・交流の場としても活用の検討を進めています。現在9月4日より営業時間を18時まで延長をしギャラリーとして運営を開始しています。

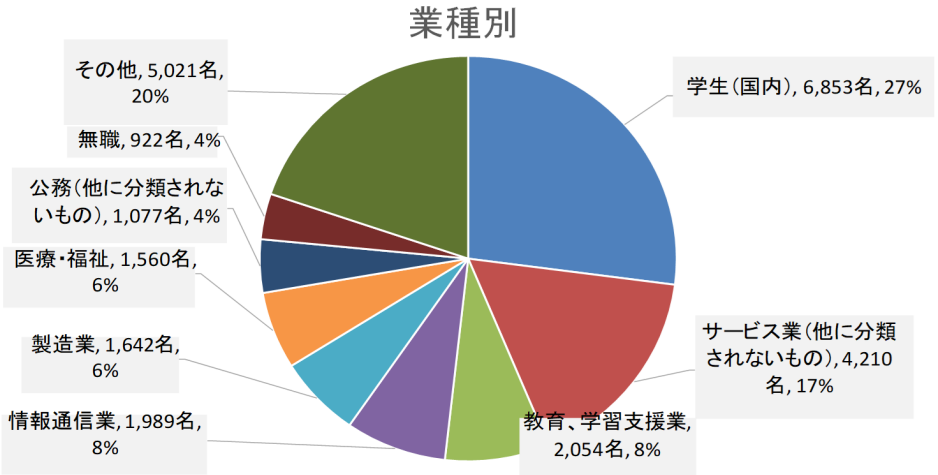
（3）**KK²Web会員**

KK²Web会員は、アソシエイト、リーダー、シニアの3つの年代層、職種も多様な方々です。世代を超えた多くの方に学びの場として活用いただけるよう、魅力ある学びのプログラムを推進し、KK²Web会員の皆さまが学びの一歩を踏み出し、実際に行動を起こしていただけることを目指して活動を行います。9月30日現在での会員登録者数は25,328名となりました。内訳は次の通りで

す。


年齢別
シニア
60歳～, 5,281名, 22%
～34歳, 7,606名, 32%
アソシエイト
35～59歳, 10,938名, 46%
リーダー


性別
無回答, 421名, 1.8%
女性, 8,371名, 35.1%
男性, 15,033名, 63.1%


業種別
その他, 5,021名, 20%
学生（国内）, 6,853名, 27%
無職, 922名, 4%
公務（他に分類されないもの）, 1,077名, 4%
医療・福祉, 1,560名, 6%
製造業, 1,642名, 6%
サービス業（他に分類されないもの）, 4,210名, 17%
情報通信業, 1,989名, 8%
教育、学習支援業, 2,054名, 8%

（4）文部科学省発行「マナビィ・メールマガジン」定期掲載

文部科学省総合教育政策局が発行する生涯学習関連情報のメールマガジンにKK²プログラムの紹介記事を寄稿しています（毎月2回　8日号/24日号）。令和5年度も11回掲載をしていただきました。

配信日	KK2記事タイトル
2023/04/08	◆新着動画 初心者にもわかりやすく！動画で学べる「坐禅のポイント」第十二回　霞が関坐禅会
2023/04/24	◆おすすめ動画 「モノづくり」を通じて子供から大人シニアが交流！皆さんの地域でもやってみませんか？「竹とんぼ教室」
2023/05/08	休刊
2023/05/24	◆新着動画 「災害大国日本で考える、人権と尊厳」～災害医療スペシャリスト 石井 美恵子さんと共に災害時の自助・共助・公助について考えてみませんか～
2023/06/08	◆新着動画 「情報的健康について－アテンション・エコノミーにどう向き合うか」～憲法学者 山本龍彦さんと共に、デジタル社会における私たちの生き方について考えてみませんか～ 【読まれた記事**3**位】
2023/06/24	◆新着動画 障がい者「が」働く、障がい者「と」働く～35歳で突然、内部障がい者になった俣野さんの治療と仕事の両立、受容への葛藤とは～
2022/07/08	◆受講受付中 自学自習で学ぶ初心者向けプログラミング講座IoT道場～RaspberryPiとPythonでIoTに挑戦！～「Python基礎講座（無料）」TAVが学びをサポートします！ 【読まれた記事**3**位】
2022/07/24	◆新着動画◆ 「野菜を伝える、野菜で伝える ～田畑は人も育つ場所～」野菜のこと、農家のこと、どのくらい知っていますか？学校・飲食店・企業と連携する福島県の農業家設楽哲也さんのトークライブ動画公開！
2022/08/08	ChatGPTを活用したAIサポート機能を搭載しました 無料で学べるプログラミング入門講座　IoT道場 ～RaspberryPiとPythonでIoTに挑戦！～【読まれた記事**2**位】
2022/08/24	◆おすすめ動画◆ 「障がい当事者が語る！コミュニケーションのバリアフリー」 障がいのある方とのコミュニケーションのポイントを学ぶ！

2022/09/08	◆おすすめ動画◆ 関東大震災から100年 災害への備えをみんなで考えよう！あなたはどう行動しますか？ おすすめ防災プログラムをご紹介
2022/09/24	◆おすすめ動画◆ クレジットカードって何？～世代を超えて学ぼう！マネーリテラシー初級講座～

（5）霞が関**7**号館**PFI**株式会社との事業連携

KK²が入居する霞が関コモンゲートを運営する霞が関7号館PFI株式会社は令和4年12月に出資者が変更になり東京建物株式会社が代表者を務めることになりました。新たなスキームで事業連携を進めていけるように調整を進めています。

（6）「千代田区霞が関三丁目町会」活動（東京都千代田区）

KK²は企業町内会「霞が関三丁目町会」に加入し、千代田区霞が関のデジタル公民館®として、町会の企業・組織の従業員の方たちの交流の場づくりに協力しています。令和5年度上期もレジリエントな地域づくりに貢献できるように進めています。

（7）社会への情報発信

KK²事業について各種SNSで、Web会員以外の方々へ情報発信を行っています。令和5年度も引き続き、利用者を増やしていくために効果的な情報発信を進めています。

KK²公式Facebook https://www.facebook.com/KK2kasumigaseki/
KK²公式Twitter https://twitter.com/KK2Kasumigaseki
KK²公式Instagram https://www.instagram.com/kk2kasumigaseki/
KK²公式YouTubeチャンネル https://www.youtube.com/@KK2

（8）自主企画プログラムと述べ参加者数

令和5年度上期は、自主企画でのプログラム開催、動画プログラム開発について123件実施しました。プログラム開催の延べ参加者数は、リアルでのKK²会場での参加者が454名、リモートでの参加者が305名です。また、動画視聴者/Web実施者が1,990名、合計延べ2,749名の方に参加・学習していただきました。

プログラム内容		実施回数 および コンテンツ数	リアル 会場 参加者	リモート 参加者	属性内訳			動画視聴者数/ Web実施者	合計
					メンバー	Web会員	一般		
AI社会を生きる力を考える									
	AVCC＆KK2事業説明会/特別講演会	2	83名	68名	91名	101名		80名	231名
個人の「レジリエンス」を学ぶ									
	KK²キャリア相談室	7		7名	0名	7名			7名
	霞が関坐禅会	1	11名		5名	6名		32名	43名
組織・地域を担うしごと力を学ぶ									
	しごと力向上ライブラリ	12						582名	582名
	デジタルTERA小屋	5	157名	150名	175名	129名	3名	489名	796名
	デジタル活用力チェック	1						330名	330名
	デジタルしごと力チェック	1						99名	99名
	コンピテンシー・チェック	1						33名	33名
	IoT道場　基礎編	14						39名	39名
	IoT道場　応用編	12						2名	2名
文化に親しみ交流する									
	霞が関寄席	2	203名	80名	80名	133名	70名	81名	364名
	江戸TOKYO散歩	65						322名	322名
合　　計		123	454名	305名	351名	376名	73名	1,990名	2,749名

以上